

H24年度総合評価(子ども支援課所管施設)						
施設名	大原児童館	本土児童館	共栄児童館	旭ヶ丘児童センター	根本児童センター	
指定管理者名	(福)多治見市社会福祉協議会	(福)多治見市社会福祉協議会	(福)多治見市社会福祉協議会	(福)多治見市社会福祉協議会	(福)多治見市社会福祉協議会	
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	2年(H23/4/1～H25/3/31)	
設置目的	本市に居住する幼児及び少年に健全なる遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにするための指導をおこなう施設。					
報告書類等の提出状況	良好	良好	良好	良好	良好	
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	良好	良好	良好
	市事業の実施	良好	良好	良好	若干不備あり	良好
	自主事業	良好	良好	良好	良好	良好
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好	良好	良好
	備品管理	良好	良好	良好	良好	良好
	その他管理	良好	良好	良好	良好	良好
収支状況(円)	総収入	9,834,500	9,295,850	11,009,460	11,342,940	10,447,582
	内利用料金収入	—	—	—	—	—
	内指定管理料	9,578,000	9,083,000	9,927,000	11,155,200	10,152,000
	支出	9,817,849	11,010,262	10,341,618	11,549,957	10,974,529
	収支	16,651	▲ 1,714,412	667,842	▲ 207,017	▲ 526,947
市民利用者の声の反映	良好	良好	良好	良好	良好	良好
全体的評価	良好	良好	良好	若干不備あり	良好	
	協定書に基づき、事業を適正に執行している。参加者の満足度、地域との連携など全体的には概ね良好である。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。来館者数の増加、参加者の満足度、地域との連携など、全体的に概ね良好である。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。参加者の満足度、地域との連携など全体的には概ね良好である。	協定書に基づき、事業を概ね適正に執行しているが、一部参加者が無く、実施できない事業があった。参加者の満足度、地域との連携など全体的には概ね良好である。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。参加者の満足度、ニーズの把握、地域との連携など全体的に概ね良好である。	
利用人数・前年度比増減率	延べ16,882人 (前年度比1.3%減)	延べ10,297人 (前年度比12.6%減)	延べ10,480人 (前年度比6.7%増)	延べ17,400人 (前年度比2.2%減)	延べ21,292人 (前年度比9.2%減)	
増減の理由	平成23年度に利用していた中学生が卒業し、利用人数が減少したため。	乳幼児親子の利用及び幼稚園降園後の一輪車練習に来館する幼児親子の減少による。	特に児童の利用数が増え、児童を対象とした行事を増やしたり、移動児童館を行うことで、児童館を知り、来館に繋げることができたことが要因となったと考えられる。	特になし	小学校の下校時間が遅くなり低学年の来館者が減少、それにより、送迎の保護者が児童センター内へ入って過ごすことが減り、大人の利用者が減少した。(平均1日7名減少)	

H24年度総合評価(子ども支援課所管施設)						
施設名	坂上児童館	中央児童館	笠原児童館	市之倉児童センター	脇之島児童センター	
指定管理者名	特定非営利活動法人 ワークスコープ	特定非営利活動法人 ワークスコープ	特定非営利活動法人 ワークスコープ	特定非営利活動法人 ワークスコープ	特定非営利活動法人 ワークスコープ	
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H22/4/1～H27/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	
設置目的	本市に居住する幼児及び少年に健全なる遊びを与えて、その健康を増進し、又は情操を豊かにするための指導をおこなう施設。					
報告書類等の提出状況	良好	良好	良好	良好	良好	
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	良好	良好	
	市事業の実施	良好	良好	良好	良好	
	自主事業	良好	良好	良好	良好	
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好	良好	
	備品管理	良好	良好	良好	良好	
	その他管理	良好	良好	良好	良好	
収支状況(円)	総収入	9,571,250	9,571,250	13,360,743	9,571,250	9,571,250
	内利用料金収入	—	—	—	—	—
	内指定管理料	9,571,250	9,571,250	13,360,743	9,571,250	9,571,250
	支出	9,852,921	9,488,345	14,033,144	9,745,545	10,174,735
	収支	▲ 281,671	82,905	▲ 672,401	▲ 174,295	▲ 603,485
市民利用者の声の反映	良好	良好	良好	良好	良好	
全体的評価	良好	良好	良好	良好	良好	
	協定書に基づき、事業を適正に執行している。参加者の満足度、地域との連携など全体的に概ね良好である。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。参加者の満足度、地域との連携など全体的に概ね良好である。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。参加者の満足度、地域との連携など全体的に概ね良好である。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。参加者の満足度、地域との連携など全体的に概ね良好である。	協定書に基づき、事業を適正に執行している。参加者の満足度、地域との連携など全体的に概ね良好である。	
利用人数・前年度比増減率	延べ13,549人 (前年度比13.2%増)	延べ16,721人 (前年度比62.8%増)	①笠原児童館 延べ18,443人 (前年度比30.0%増) ②親子ひろば 延べ6,861人 (前年度比38.6%増)	延べ9,242人 (前年度比7.6%増)	延べ21,135人 (前年度比21.4%増)	
増減の理由	大人の来館者数の増加については、地域の行事の参加及び、共催事業の増加、乳幼児親子の来館数の増加のためと考えられる。	午前中と夕方とで1日2回みえるなど頻度が多くなったため。また、近隣の保育園、幼稚園の年長の園児とその保護者へ向け、卒園前に宣伝したところ、新小学1年生の利用が増えたため。	児童館、親子ひろば、ともに施設が認知されてきた。また、児童館は、中高生主体の事業に力を入れた事が来館につながった。	乳幼児クラブの参加者が全体的に増えたこと、夏頃からの地域との連携により、関係が良好になったことなどによる。	地域での保護者同士のネットワークが強く、お互いに誘い合うことにより来館者が増加したと思われる。	

H24年度総合評価(子ども支援課所管施設)					
施設名	発達支援センターなかよし	発達支援センターひまわり	池田保育園	旭ヶ丘保育園	
指定管理者名	(福)多治見市社会福祉協議会	(福)多治見市社会福祉協議会	(福)いしずえ会	(福)前畑育英会	
指定期間	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H23/4/1～H28/3/31)	5年(H22/4/1～H27/3/31)	
設置目的	心身に障害のある幼児に対し、通園の場を設け、日常生活における基本的な動作の指導、集団生活への適応訓練、相談及び検診を行い、その育成を支援する。		保育に欠ける乳児又は幼児を保育することを目的とする。		
報告書類等の提出状況	良好	良好	良好	良好	
運営・利用状況	利用状況	良好	良好	良好	
	市事業の実施	良好	良好	良好	
	自主事業	良好	良好	—	
施設管理状況	施設管理	良好	良好	良好	
	備品管理	良好	良好	良好	
	その他管理	良好	良好	良好	
収支状況(円)	総収入	39,362,850	39,313,860	108,649,201	140,512,743
	内利用料金収入	—	—	3,874,570	5,576,577
	内指定管理料	39,242,000	39,242,000	101,954,410	105,117,190
	支出	41,898,219	39,600,182	107,379,253	137,147,392
	収支	▲ 2,535,369	▲ 286,322	1,269,948	3,365,351
市民利用者の声の反映	良好	良好	良好	良好	
全体的評価	良好	良好	若干不備あり	良好	
	・協定書に基づき、事業が適正に執行されている。提出書類等についても期限を遵守している。 ・ニーズの把握、事業への反映について、積極的に取り組んでいる。	・協定書に基づき、事業が適正に執行されている。提出書類等についても期限を遵守している。 ・ニーズの把握、事業への反映について、積極的に取り組んでいる。	食育への取り組みや、障がい児保育にあっては、障がいや弱さを持った子だけを集めた「保育」の実施という視点にとどまることなく、一人の入所児としてみな同じクラスでの生活を保障した保育を実施されていると評価できる。一方、事故や苦情への対応については、保護者からの通報ではじめて判明するケースや、市への報告がない案件が散見されるときともに、保護者に対する説明が十分に行われていないために苦情に発展しているとも考えられる。また、昨年度の事業評価において「来年度の管理運営(事業執行)に対する指示事項」に記載したとおり、多治見市として取り組んでいる事業や園児と小中学生の交流事業にも積極的に取り組んでいたきたい。 平成24年11月26日付多子第1673号指定管理業務に係る改善指示書に従って取り組むこと。	指定管理3年目、指定管理制度による園運営も軌道にのり、保育環境を向上させるための職員の配置、環境整備などを行い、保育を実施されている。保育の質を維持向上させるため、保護者からの意見聴取およびその対応、正規職員の配置や資質向上に配慮されており、この状況を継続し運営していただくことを期待する。また、平成24年12月11日(火)全国保育士養成協議会児童福祉施設福祉サービス第三者評価機関(HYK)による第三者評価訪問調査(ヒアリング等)を受検。この結果を今後の園運営に有効活用されるよう要望する。	

利用人数・前年度比増減率	延べ4,440人 (前年度比9.4%減)	延べ3,945人 (前年度比8.6%増)	延べ1,115人 (前年度比7.2%減)	延べ1,599人 (前年度比2.6%減)	
増減の理由	特になし	特になし	低年齢児の入所希望が多く なっていることによる。	低年齢児(1, 2歳児)の受 け入れは、年を通してほ ぼ定員一杯。園全体では、平 成23年度定員に対し86% 程度であったものが、平成 24年度定員に対し83%程 度の入所となった。	